

うに郷通信

No.166
令和5年(2023)5月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

ふれあい喫茶ひさびさの開店！

1年間のお休みをいただきました。開店にあたり、食器などを洗浄してテーブルも消毒スプレーをし、いざ買い物！ うん？ 何を買うんだっけ？ 長く休んでいたら忘れてよー。

さあ準備も整いお店を開けました。ドキドキ!! いつもの人が友達と一緒に来店。「ありがとう！」お花も飾っていただき感謝！ それからは次々と来客。あれ？「開けるの待ってるでー」と言っていた人がまだ、と思っていたらやっと来られ、「今度は嫁さんと一緒にくるわ」と。

いつもの通りふれあい館の中は話し声が弾み、笑い声がひびき、楽しい半日でした。アイスクリームも始めました。皆さんおしゃべりをしに来てください。待っていますね。
(ふれあい交流広場部会)



ピカピカの1年生



宇仁小学校に9人の1年生が入学しました。2階から主役の新一年生が、拍手の中一歩一歩と階段を降りてきました。

担任の先生から名前を呼ばれて着席。校長先生は3つの話をされましたね。大きな声で挨拶をする、大きな運動場でお兄さんお姉さんたち

と一緒に一杯遊ぶ、楽しく学校に毎日元気に来る。**ガンバレー！ 楽しい6年間を。**

初めて聞く全校生での校歌斉唱、いつ頃覚えられるかな？ 玄関前で勢ぞろいして記念写真、ピカピカの1年生、可愛いです！！

さあ明日からランドセルを背負って、お兄さんお姉さんたちと学校まで歩いて行きましょう。

(新入学1年生保護者)

八幡神社 幟アルミポールが完成

鍛冶屋町の鎮守である八幡神社本殿前に幟立てのアルミポールがこの度完成しました。鍛冶屋町の重要な伝統行事として八幡禊は永年受け継がれ、祭りの際には幟を揚げてきました。

近年は鍛冶屋町も過疎化、少子高齢化が急激に進み、以前のように秋祭りの都度重い木製の竿を立てて幟を揚げるのが困難となってきたのは近隣の他町でも事情は同じで、田谷・油谷・小印南・国正・青野の各町は、昨年八王子神社境内の木製竿をアルミポールに新調して設置しています。



八王子神社宮司による工事の安全祈願



鍛冶屋町でもこの流れを受け、八幡神社にアルミポールを設置することにしました。

2月初めに着工し、3月3日に完成しました。今年9月の八幡禊の際にお披露目する予定にしています。

(鍛冶屋町区長 繁田宜久)

「宇仁ふれあいバス」運行対応要員の募集について

「宇仁ふれあいバス」の運行開始から3月末で2年6ヶ月となりました。その間、多くの方にご利用いただきありがとうございます。2年6ヶ月の間、徐々に利用される方が増え、令和4年度は約1,000名の方がご乗車されました。その間、無事故で、安全運行を行ってこられたことを部員一同、安堵すると共に誇りに思っています。これからも引き続き安全運行を行ってまいりますのでご利用の程、よろしくお願いいたします。

しかしその間、運行対応要員も年齢を重ねることとなり、数年先には現在の運行を継続することが困難になるのではと懸念されます。高齢者による交通事故の報道が多くなっており、宇仁ふれあいバスにおいても他人事ではなく、今後も安全運行を継続していくことへの不安な面が残されています。

また、これからも高齢化がますます進んで行く中、高齢者の移動手段を確保することが宇仁地区としてより重要な課題となってきます。現在車を運転されている高齢者の方も何年か先には運転が難しくなり、通院や買い物などにマイカーの利用ができなくなってきます。宇仁ふれあいバスをこれからも長く運行していくことが高齢者の移動手段の確保に重要な役割を担うこととなりますが、そのためためには運行対応要員に新たに参加してもらい、継続的な運行が出来るよう協力いただくことが必要となります。

何年か先のことを思い、「宇仁ふれあいバス」の運行継続についてご理解・ご協力をいただける方のご参加をお願い申し上げます。



〔募集内容〕

1) 運転員

数名

*普通自動車の運転免許保持者（乗務に必要な講習を1日間受講します。）

*勤務時間 1日乗務の場合 8時00分～16時45分

半日乗務の場合 8時00分～13時00分(午前勤務)
13時15分～16時45分(午後勤務)

*勤務日数 1ヶ月に3日～5日程度

*給与 時給 1,000円

2) 運行管理者

数名

*資格等は不要（運転員の健康確認、運行書類の準備、運行終了後の片づけなどが業務です。）

*勤務時間 1日乗務対応の場合 7時50分～8時20分及び16時20分～16時50分

半日乗務対応の場合 7時50分～8時20分及び12時45分～13時30分
及び16時20分～16時50分

*勤務日数 1ヶ月に5～7日程度

*給与 時給 1,000円

3) 申込み連絡先 TEL090-8380-2223 運行管理者：宇仁ふれあいバス部会長 岡本康雄まで

(宇仁ふれあいバス部会)

宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達⑭

宇仁郷まちづくり協議会

6. 活動の盛り上がり

県・市は少子高齢化の進展に危機感を抱き、田舎においてはふるさとの再生に地域の力を借り、活動資金を援助するようになりました。従来のひも付きの助成金制度から、地域の提案を採択する交付金制度に変わり、地域の意思が尊重されるようになり、資金の使い方の自由裁量の幅が広がりました。行政の窓口も加西市はふるさと創造課、北播磨県民局は県民室・加東農林事務所がシッカリ相談に応じけるようになりました。

この規制緩和の結果、総会后間もない平成20年5月に地域住民がボランティアで放課後児童を預かる「宇仁校区子育て支援センター・部会長黒崎忠彦」が、平成20年6月には花をいっぱい咲かせ地域に潤いをもたらす「宇仁の里花畑街道・部会長稲木善英」が、平成21年7月には野菜作りの技を生かし地産地消を進める「宇仁の朝市・部会長繁田昭彦」が、協議会スタート後1年の短期間で誕生しました。

この先行3部会の活躍が加西市内・北播磨県民局管内に知れ渡り、問い合わせの電話や見学者が増え、宇仁郷まちづくり協議会の認知度が高まってきました。令和5年2月現在の部会は11部会に成長を遂げましたが、“継続は力なり”を実践する先行3部会の皆さん方の影響を受けたのではないのでしょうか。



子育て支援センター



宇仁の里花畑街道部会



宇仁の朝市部会